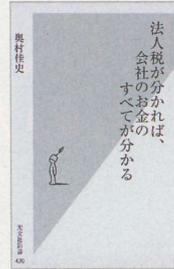


4分で 4冊!

新刊新書 サミング・アップ

法人税が分かれば、会社のお金のすべてが分かる

奥村佳史 著



光文社新書
840円

不況の中、会社の経費は削減されるばかり。税理士である著者は、ならば法人税も削減しようと言った。法人税と会社のかかわりを理解せずに仕事をしていると、思わぬことで余計な税金を払わなくてはならないときがあるからだ。

たとえば、こんなテクニク。会社の飲食費は1人当たり5000円以上になると金額が交際費となり、法人税の対象となる。そこで5000円以下に抑えれば、交際費の範囲からは除外される。

本書は、法人税の体系をわかりやすく説明しながら、法人税法の規定が会社運営や営業活動にどんな影響を与えるかなど、会社をめぐるさまざまなおカネのカラクリを解説。サラリーマンのための法人税入門となっている。

水は人類にとって、必要不可欠な物質である。国連は2050年ごろには、約40億人が深刻な水不足に直面するという報告を行っている。

それを逆手に取れば、水源のニーズが高まることよって、水関連ビジネスが成り立つと水環境問題の専門家である著者はいう。現在でもすでに、欧米を中心に水ビジネスは過熱しつつあり、25年には世界の水市場は110兆円市場になるという試算もあるくらいだ。

世界の民営化された上下水道を支配する「水メジャー」のビジネスモデルから、日本の現状、湾岸戦争やイラク戦争において水資源の確保が大きく影響したことまで、水をめぐる人類の興亡を多彩な視点から論じている。

水ビジネス 110兆円水市場の攻防

吉村和就 著



角川ONEテーマ21
740円

**会社を筋肉質に変える！
ローコスト・オペレーション**

高橋修一 著



PHPビジネス新書
840円

大不況でも増収増益の企業はある。一方で技術力も商品力も持ち、確固たる市場をつかんでいるのに好況時でさえ収益確保に苦しむ企業も少なくない。その差を埋めるのが、コストカットの組織的方法論、ローコスト・オペレーションだという。

照準が当てられるのは経費節減。経営改革や収益向上に最も有効であり、経営者が率先垂範すべき真に重要な仕事であるとする。中でも販売管理費は削ればそのまま収益に直結し、利益の源泉となる。そう明確に位置づけて行う施策と認識せよと唱える。

「節約」は企業力を強化して信用を高めるとして、「コスト削減」を明るく、楽しく実行する方法を、豊富な企業再建の経験から提示する。

星占い、いわゆる西洋占星術の発祥は紀元前のバビロニアだという。ヘレニズム文化では天文学と占星術は未分化のものであり、占星術の発展は天文学の発達に伴うものだった。20世紀に入ると、ユング心理学の影響からホロスコープの中に、心理学的な要素を見いだす心理占星術というアプローチが生じている。

テレビや雑誌を通して私たちの生活に浸透している星占いは知っているだろう。しかしその占い方のしくみを知る人は少ない。本書は人気占いサイトを主宰する著者による入門書。科学技術が発達した現代において、星占いというメッセージをいかに読み解くか、その秘密を解き明かす。

星占いのしくみ 運勢の「悪いほう」は決まるのか？

石井ゆかり、鏡リュウジ 著



平凡社新書
798円